

目 次

第1章 偏微分.....	9
1.1 多変数の関数.....	9
1.2 偏微分.....	12
1.3 全微分可能性.....	13
1.4 複素関数の微分法.....	16
1.5 等角写像性.....	22
第2章 高階偏微分.....	27
2.1 高階偏導関数.....	27
2.2 テイラー展開.....	29
2.3 多変数の整級数.....	33
第3章 関数の増減と凸性.....	39
3.1 関数の増減と微分係数.....	39
3.2 凸関数.....	43
3.3 不等式への応用.....	47
第4章 極値問題 (I)	55
4.1 極値問題概説.....	55
4.2 微分による判定条件.....	58
4.3 2階微分係数による判定.....	61

4.4	大域的な最小の十分条件.....	63
4.5	変分法入門.....	65
第5章 陰関数.....		73
5.1	陰関数の定理.....	73
5.2	逆写像.....	76
5.3	関数関係.....	81
5.4	線型関数関係.....	84
第6章 極値問題 (II)		89
6.1	条件つき極値問題.....	89
6.2	ラグランジュ乗数の意味づけ.....	91
6.3	不等式の制約条件つき問題.....	97
6.4	クーン・タッカーの定理について	102
6.5	罰金法の話.....	105
第7章 線型計画法概説		109
7.1	線型計画法とは.....	109
7.2	基底解と双対定理.....	112
7.3	ファルカスの定理の証明.....	117
7.4	シンプレックス法.....	121
さらに進んで勉強する人のために.....		127
演習問題略解.....		131
索引.....		147

